

平成29年7月14日
延岡河川国道事務所

五ヶ瀬川かわまちづくり事業（鮎やかな周辺の整備）が 全建賞を受賞しました。

平成29年5月17日に（一社）全日本建設技術協会による全建賞の発表があり、延岡河川国道事務所が整備する五ヶ瀬川かわまちづくり事業（鮎やかな周辺の整備）が河川部門（全国16事業）にて受賞しました。

この賞は、国、都道府県、市町村、機構・公社等の機関より、322事業（うち東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠22事業）の応募があり、審査の結果、77事業（うち東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠11事業）が、平成28年度全建賞として選考され（受賞率23.9%）、受賞式が6月27日に東京都で開催されました。

延岡河川国道事務所では、平成18年に河川改修と環境保全に取り組んだ北川河川激甚災害対策特別緊急事業での受賞以来の11年ぶりの受賞となります。

【事業の概要】

- 事業者名：延岡河川国道事務所
- 事業期間：平成23年度～平成28年度
- 工事費：11億5千万円
- 事業箇所：大瀬川河川敷
- 左岸：延岡市大貫町
- 右岸：延岡市北新小路～古城町
- 整備内容：河床掘削、護岸、緩傾斜堤防、芝張、
駐車場、散策路整備等



受賞の盾と表彰状



写真 大瀬川の整備状況

問い合わせ先 〒882-0813 延岡市大貫町1丁目2889

国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所

副所長 川元 壊二 代表電話 0982-31-1155 内線 204

調査第一課長 小野 富生 直通電話 0982-31-1191 内線 351

参考

【五ヶ瀬川かまわちづくり】

平成 24 年 10 月に地域住民、学識者、延岡市、宮崎県、国土交通省の連携のもと、「五ヶ瀬川かまわちづくり検討会」が設立され、五ヶ瀬川の「かわづくり」と延岡市の「まちづくり」が一体となり、五ヶ瀬川を軸とした地域の活性化や地域交流の促進、河川空間利用者の安全性の向上など、様々な議論を行い、平成 25 年 1 月に「五ヶ瀬川かまわちづくり計画書」を策定し、五ヶ瀬川と大瀬川に囲まれた川中、大貫、野地、野田、西階地区等において事業を進めています。

今回整備した箇所は、鮎やなを中心とした「自然の恵み体験拠点」として位置づけられ、国土交通省が進める計画のみでは無く、大貫水辺プロジェクトとして、沿川の方々や延岡市、延岡五ヶ瀬漁協、延岡市観光協会などの意見を取り入れながら改修を行いました。

五ヶ瀬川かまわちづくり <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/kasen/kawamachidukuri/>

大貫水辺プロジェクト http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/kasen/kawamachidukuri/oonuki_pjt.html

【(一社) 全日本建設技術協会】

国・地方公共団体・機構公社等に勤務する建設技術関係者からなる公益団体で、約61,000名の正会員を擁しています。建設技術の進歩・発展及び住宅・社会資本の整備・管理を通して、より豊かで安全な社会の実現を目指し、様々な事業を行っています。特に、建設事業に携わる技術者に住宅・社会資本整備等の事業実施における課題解決など、業務に直接役立つタイムリーな情報提供などに努めている団体で、主な事業として、次の事業を行っています。

- (1) 建設関係施策の推進及び建設技術の向上に資する調査研究、情報の提供・広報及び提言
- (2) 建設関係施策及び建設技術に関する講習会、講演会等の開催及び見学視察等の実施
- (3) 機関誌、建設技術に関する図書、その他印刷物の刊行
- (4) 建設関係事業等に関する表彰
- (5) 建設技術関係者の資格付与及び教育
- (6) 本協会の目的に適合する団体等の活動への参加・協力
- (7) 会員相互の親睦、交流、相互支援に関する事業
- (8) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

【全建賞】

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。昭和28年（1953年）の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

全日本建設技術協会全建賞HP<https://www.zenken.com/hypusyou/hyousyou.html>

五ヶ瀬川かわまちづくり事業（鮎やかな周辺の整備）が平成28年度全建賞を受賞しました！！



概要

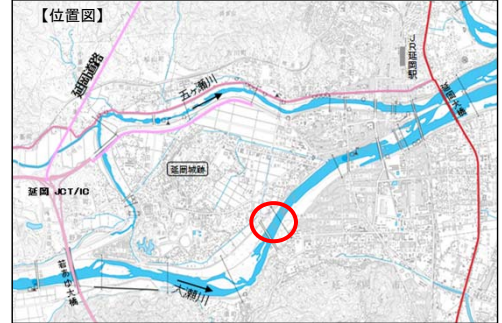
延岡市の観光拠点である大貴地区周辺で、大瀬川兩岸の河道掘削工事に合わせ、300年以上の歴史を誇る「鮎やかな」の風情を活かした河川空間の創出等を目指しました。計画にあたっては、「五ヶ瀬川かわまちづくり」での住民参画のもと検討し、今回新たな水辺スポットとして「大貴かわまち交流広場」の周辺整備が完成しました。

◇住民参画による取り組み

「大貴かわまち交流広場」の整備にあたっては、住民や関係機関と「大貴水辺プロジェクト」として、具体的な整備メニューや利活用、維持管理について議論し、日常利用と観光として延岡を訪れる人々がより親しめる水辺整備プランを立案し進めました。

◇延岡市を代表する憩いの場・観光スポットへ！

- ・日常利用として、小学校の河川学習、清掃やマラソン大会等活発に利用されています。
- ・「かわまち交流館」の鮎やかな時期の利用者数は、H27、H28は約2万人と増加してきており、観光に寄与することができました。
- ・「大貴かわまち交流広場」が平成28年11月に「都市・地域再生等利用区域」に指定され益々の賑わいが期待されています。



これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
大貴水辺プロジェクト	平成26年度	地域と連携した多目的広場の基盤整備
大貴かわまち交流広場完成式典	平成27年5月1日	大貴かわまち交流広場・かわまち交流館がオープン
都市・地域再生等利用区域に指定	平成28年11月30日	自然の恵み体験拠点一帯が「都市・地域再生等利用区域」に指定⇒河川敷地占用許可準則の緩和

大貴水辺プロジェクトによる整備前後の状況

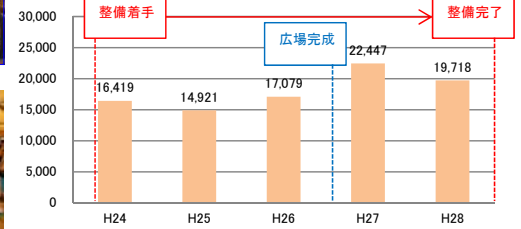


取り組みによる「かわまちづくり効果」

●延岡市を代表する憩いの場・観光スポットへ



かわまち交流館（鮎やかな食事処）年間利用者数
(10月～12月初旬)



交流館を利用した安全学習

●花火大会の会場としてバージョンアップ

大貴かわまち交流広場は、まつりのべおか花火大会の会場になっています。平成27年7月には広場が整備されて初めての花火大会が開催され、多くの観覧客による利用や河川敷での出店などで大いに賑わいました。



●広場整備の相乗効果（かわまち交流館）

広場に隣接の「かわまち交流館」に仮設トイレが設置されたため広場利用者（特に団体）の長時間の滞在が可能になりました。

現在は、小学校による環境学習・清掃や中学校のロードレース大会等の利用など、組織的に日常利用される機会が増加しつつあります。



全建賞審査員評価コメント

延岡市の観光拠点である大貴地区周辺で、大瀬川の河道掘削に合わせて水辺の環境整備を行った事業。その土地特有の歴史ある「鮎やかな」を中心に据え、地元住民・関係機関と議論を重ねてプランを作った結果、延岡市を代表する憩いの場・観光スポットに育ちつつある点や、各施設の利用者数もしっかりカウントされており、またそのいずれも増加傾向を示しており、成果がわかりやすく示されている。



「大貴かわまち交流広場」完成式典



鮎の放流セレモニー



水辺の安全教室